

## 数A(方べきの定理②)

- ① 半径 $r$ の円に内接する四角形 $ABCD$ において、  
辺 $BC$ がこの円の直径である。対角線 $AC$ と $BD$ の  
交点を $E$ とし、 $E$ から $BC$ に垂線 $EF$ を下す。  
 $BF:FC=m:n$ とすると、 $BE \cdot BD$ を $r, m, n$ を  
用いて表そう。

